

5 博士学位取得までのプロセス

日程等の詳細は総合政策科学研究科のホームページでお知らせします。

→総政 HP：トップページ > 在学生の方へ > 大学院生の方

《2025年度以降生》

【標準研究日程】

年次	学期	内容	日程
1 年次	春	「リサーチ・デザイン特講」or「比較政策科学文献研究」の「履修希望書」を提出 ※ p.75参照 「特殊研究」の登録	4 月 (春学期科目登録期間)
		「研究テーマ届」提出締切*1	春学期面接授業第二週目初日
	秋	「特講演習Ⅱ」の登録	9 月 (秋学期科目登録期間)
		研究発表会	2 月中旬～3 月上旬
2 年次	春	「特殊研究」「特講演習Ⅰ」の登録 「共同演習」の登録	4 月 (春学期科目登録期間)
		「研究テーマ届」提出締切*1	春学期面接授業第二週目初日
	秋	「博士資格論文概要」提出締切	9 月上旬
		「博士資格論文」提出締切	1 月上旬
		博士資格論文審査会	1 月下旬
		博士資格論文審査結果通知	3 月中旬
3 年次	春	「特殊研究」「特講演習Ⅰ」の登録	4 月 (春学期科目登録期間)
		「研究テーマ届」提出締切*1	春学期面接授業第二週目初日
	秋	「特講演習Ⅱ」の登録	9 月 (秋学期科目登録期間)
		「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期面接授業第二週目初日
		「博士学位論文題目変更届」提出締切（希望者のみ）	11 月上旬
		「博士学位論文」提出締切	11 月下旬
		論文提出後	
		博士学位論文審査会	1 月中旬まで
		博士学位論文審査（研究科委員会）	1 月下旬
		学位論文総合審査（研究科長会）	3 月上旬
		学位論文審査結果通知	3 月上旬
		学位授与式	3 月中～下旬

*1 春学期休学者は秋学期面接授業第二週目初日までに提出すること。通年休学の場合は不要。

【2年早期修了 研究日程】

年次	学期	内容	日程
1 年次	春	「リサーチ・デザイン特講」or「比較政策科学文献研究」の「履修希望書」を提出 ※ p.75参照	4 月 (春学期科目登録期間)
		「特殊研究」の登録	
		「共同演習」の登録	
		「早期修了申請書」提出締切*1	春学期 DO Week 開始日
		「研究テーマ届」提出締切	春学期面接授業第二週目初日
	秋	研究発表会	春学期中
		「博士資格論文概要」提出締切	9 月上旬
		「博士資格論文」提出締切	1 月上旬
		博士資格論文審査会	1 月下旬
		博士資格論文審査結果通知	3 月中旬
		「共同演習」結果通知	秋学期 成績通知書 交付日(3月中旬)
2 年次	春	「特殊研究」「特講演習Ⅰ」の登録	4 月 (春学期科目登録期間)
		「研究テーマ届」提出締切	春学期面接授業第二週目初日
	秋	「特講演習Ⅱ」の登録	9 月 (秋学期科目登録期間)
		「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期面接授業第二週目初日
		「博士学位論文題目変更届」提出締切(希望者のみ)	11 月上旬
		「博士学位論文」提出締切	11 月下旬
		論文提出後	
		博士学位論文審査会	1 月中旬まで
		博士学位論文審査(研究科委員会)	1 月下旬
		学位論文総合審査(研究科長会)	3 月上旬
		学位論文審査結果通知	3 月上旬
		学位授与式	3 月中～下旬

*1 指導教員に相談のうえ早期修了申請書を提出すること。詳細は早期修了に関する要項(p.9～p.10)を確認すること。

博士課程
(後期課程)

【1年早期修了 研究日程】*2

年次	学期	内容	日程
1 年次	春	「リサーチ・デザイン特講」or「比較政策科学文献研究」の「履修希望書」を提出 ※ p.75参照 「特殊研究」の登録	4 月 (春学期科目登録期間)
		「早期修了申請書」提出締切 *1	春学期 DO Week 開始日
		「研究テーマ届」提出締切	春学期面接授業第二週目初日
		研究発表会	4 月中
	秋	「特講演習Ⅱ」の登録	9 月 (秋学期科目登録期間)
		「博士学位論文題目届」提出締切	秋学期面接授業第二週目初日
		「博士学位論文題目変更届」提出締切 (希望者のみ)	11 月上旬
		「博士学位論文」提出締切	11 月下旬
		論文提出後	
		博士学位論文審査会	1 月中旬まで
		博士学位論文審査 (研究科委員会)	1 月下旬
		学位論文総合審査 (研究科長会)	3 月上旬
		学位論文審査結果通知	3 月上旬
		学位授与式	3 月中～下旬

* 1 指導教員に相談のうえ早期修了申請書を提出すること。詳細は早期修了に関する要項 (p.9～p.10)を確認すること。

* 2 入学時において、公刊された単著の研究書 (学会誌等の書評で一定の評価を得たものであること)、また全国学会誌に掲載された複数の査読付論文を有するなど特に優れた研究業績をあげた者については、1年で修了することを認める場合がある。